



7月1日(土)、今年も、子供たちと地域の人たちが集まり「岩村公民館の七夕祭り」が開催されました。

朝10時前から、包末こども会・金地こども会・堀の内こども会・福船こども会(蔵福寺島含)の子供たちや、岩村いきいき体操・岩村公民館運営審議委員会・岩村社会福祉協議会・岩村消防団・健康づくり・愛球会・3B体操・パソコンクラブのメンバーが次々と

訪れ、手際よく準備に入っていました。

あらかじめ願い事を書いた短冊を、紐に通してホッチキスとガムテープでしっかり竹に結び、瞬く間に、竹は短冊でいっぱいになりました。

こうして子供たちや大人も夢や願いをいっぱい飾った竹飾りが出来、公民館の表に飾り付けました。「子供の元気が村の元気」といわれるように、元気な岩村をかいま見た事でした。

(編集部)

夢や願いをいっぱい飾った竹飾り



飾り付けたら圧巻の七夕祭り



必死になって作業する子供たち



私たちも元気をもらっています



一時は会場が人であふれていました

子供の元気が、村の元気！

七夕飾りを手伝ってくれた子供たちです



包末子ども会



金地子ども会



福船子ども会

七夕の意味
7月7日は「七夕祭り」ですが、どうして短冊に願いを書いたり、竹や笹に飾り付けをするのでしょうか。
七夕の語源は、元々、中国から伝わったもので「星伝説」(織

姫と彦星の物語)と中国の宮中行事「乞巧奠」(きこうでん)が結びつきつになったと考えられています。
江戸時代から庶民の間でけっこう流行し、現代では日本特有の行事となり、桃の節句や端午の節句と同じく節句の一つとなっています。



堀の内子ども会

日章小であゆみサミット

6月30日、日章小で学校と子供たちと地域の住民との意見交換会「あゆみサミット」が開催されました。

岩村地区からは、島崎公民館長、田所公民館運営審会長、和田補導員の3名が参加して、交流を深めてきました。

子供たちと一緒に、花壇に花を植えるサミット参加者

